



あおぎり

学校の教育目標
立志 共創 自立

◇令和6年度「変化は進化」を求めて歩む

春の暖かさと少し肌寒さが入り混じる心地よい季節の中、新1年生273名を迎え、全校生徒837名と教職員75名で、令和6年度の長森中学校がスタートし、2週間が経ちました。入学式や始業式、対面式で、一人ひとりが新年度の目標や願いをもち、歩み出していることを生徒のみなさんの日々の姿から感じます。

年度当初の思いを大切に歩み続け、節目ごとに、その思いに立ち返り、自分の歩みの過程や成長が自覚できるようにしたいです。始業式、入学式、対面式でのお話を紹介します。

《始業式での校長先生の話》

「なりたい自分」を探し求めよう

令和6年度がいよいよスタートします。

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

進級にあたり、「なりたい自分」について話をします。

昨年、大リーグで活躍している大谷翔平選手は、高校時代「目標達成シート」を活用して、夢実現を果たしたという話をしました。



長森中学校の卒業生で夢に向かって現在活躍している「大西達也」さんの話をします。

大西さんは現在26歳、モザイクアート作家です。14歳で個展を開いています。その後も、作品作りに励み、各種コンクールで数々の賞を受賞し、現在は名古屋の会社に画家として就職してみえます。

先月、市内で個展が開かれていたので、大西さんの作品を見してきました。中学校時代からの作品が多数展示してありました。これは、「岐阜の花火」という作品です。モザイクガラスとモザイクタイルを1枚ずついねいに貼り合わせてつくられています。現在はアクリル絵の具で絵画も描いてみえます。

そんな大西さんですが、2歳で自閉症と診断され、中学校では特別支援学級に在籍していました。コミュニケーションをとることが得意ではありませんでした。しかし、夢中になれることを見つけ

ました。それが、アイロンビーズやジグソーパズルです。当時の作品がゆずりは教室や保健室に掲示してあります。大西さんのすごい所は、すべての作品づくりにおいて、下書きを全くしないということです。きっと頭の中に構想図ができあがっているのではないのでしょうか。

また、大西さんは、学校での日常生活も頑張りました。苦手なコミュニケーションを克服するために、あいさつ運動を率先して行ったり、休み時間のたびにトイレのスリッパをそろえたりして自分磨きをしました。

私は、日常生活を大切にしながら、自分が夢中になれることをとことん追求したからこそ、今日の大西さんが存在すると思います。もちろん、ご家族や周りの方々のたくさんのサポートがあったことは言うまでもありません。

みなさんには、今、自分の夢、やってみたいことはありますか。ぜひ、大西さんのように、「なりたい自分」を探し求めるために、自分が夢中になれることを見つけてほしいと願っています。

《入学式での校長先生の話》

校庭の桜も満開となりました。

本日ここに入学式を挙げるにあたり、学校運営協議会長様のご臨席を賜り、高い席ではございますが、厚く感謝を申し上げます。

さて、273名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を、在校生、教職員一同心待ちにしておりました。本校の教育目標は、「立志」「共創」「自立」です。

「立志」皆さんは、どんな夢や希望を持っていますか。ぜひ、夢実現のために、志をもち失敗を恐れず挑戦しましょう。

「共創」仲間と共に、価値あるものを創り上げていきましょう。困っている仲間には、温かい言葉をかけてあげましょう。

「自立」自分で考え判断し、自分の生き方を見付けていきましょう。基本的な生活習慣である「睡眠」はとても大切です。しっかり睡眠をとって健康な日々を過ごしましょう。

ここで日野小学校出身の新入生の詩を紹介します。

(中略)

ぜひ、この詩のように、たくさんの友達をつくりましょう。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様を前に、感慨もひとしおのことと存じます。思春期と言われる多感な時期ですが、親子の対話を大切に、家庭と学校と力を合わせてお子さんを支えていきましょう。

地域の皆様、「子どもは地域の宝です」生徒たちが積極的にボランティア活動などでお世話になる機会も多くなります。ぜひ、励ましの言葉をお願いします。

新入生の皆さん、中学校生活三年間で、なりたい自分に向かって、大いに変化し、進化する姿を期待し、式辞といたします。



《対面式での新入生代表の話》

長森中学校の先生方、先輩方、私たち1年生をやさしく、そして温かく迎えてくださり、ありがとうございます。私たちは、まだまだ分からないことばかりですが、これから長森中学校の生徒として過ごしていきます。よろしくお願いします。

中学校では、小学校でなかった部活動が始まり、共に過ごす仲間も増えます。なので、とても成長できると思います。私たちはそんな3年間をとっても楽しみにしています。ですが、時には、大きなカベにぶつかり、どうすればよいかと迷ってしまうこともきっとあります。そんな時、私たちは小学校で学んだことや中学校で新たに身につけたことを糧にし、進んでいきます。どうか、温かく見守って下さい。どうしても自分たちの力では進めないと思ったときは、先輩方のお力をかりたいです。私たちは先輩方のたくましい背を見ながら歩いていきます。よろしくお願いします。

最後に、先生方、先輩方、私たち1年生にこのような機会をつくってくださり、本当にありがとうございました。これからは、先輩方とともに成長していけるようにがんばります。

始業式、入学式や対面式が心のこもった式になったのは、多くのみなさんのおかげです。「新入生のために」と、部活の活動時間を調整して入学式の会場を創りあげたり、春休みから学校紹介の準備を整えたり、精一杯の拍手で新入生を迎えたりする在校生のみなさんの姿や思いは、新入生のみなさんの心に届いていると思います。在校生の温かい気持ちが一人ひとりの「変化は進化」につながっていくと感じました。